

科目名	まちづくり論	英語科目名	Community Upgrading
開講年度・学期	平成22年度・後期	対象学科・学年	専攻科・建築学コース・1年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2単位	単位種類	学修単位(15+30)h
担当教員	尾立弘史	居室(もしくは所属)	建築棟2階デザインスタジオ内(A-208-4)
電話	0285-20-2835	E-mail	oryu@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
まちづくりにおいてその地域で育まれてきた伝統的な生活のシステムを発見し、計画に反映させるのは有効な手法である。本年度は、日本の伝統的な都市空間の構成を表現するポキャプラーを学び、日本の都市空間の構成原理とそのシステムを理解する。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
日本の伝統的な都市空間の構成を表現するポキャプラーを学び、その概要が説明できる			
評価方法			
授業毎のレポートの提出状況と内容で評価する 定期試験は行わない			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目	自学自習時間	
1、方位、重畳、布石	左記キーワードの予習と事例収集	4	
2、天地人、真行草、さおび	同上	4	
3、ま、かいわい	同上	4	
4、あられ、千鳥掛け、折れ曲がり	同上	4	
5、ゆがみ、凹み	同上	4	
6、すみ違い、すみかけ、障り	同上	4	
7、盗み、生け捕り、男坂女坂	同上	4	
8、見え隠れ、ひもろぎ空間	同上	4	
9、したがえる、くぎる	同上	4	
10、かこむ、つなぐ	同上	4	
11、ささえる、おおう、きめをつくる	同上	4	
12、集落型、密教型	同上	4	
13、城郭型、塔頭型	同上	4	
14、枝割方、阿弥陀型	同上	4	
15、まとめ	全体を総括しレポートする	4	
自学自習時間合計			60
キーワード	日本の都市空間 歴史 地域性		
教科書	「日本の都市空間」彰国社		
参考書			
小山高専の教育方針①～⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標	(B-3)、(C-2)		
JABEE 基準1の(1)との関係	d(2-b)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	現代建築論、都市地区計画、建築計画Ⅲ		
現学年の関連科目	地域設計Ⅰ、地域設計Ⅱ、近代建築思想史、地域施設計画論		
次年度以降の関連科目	居住地計画論、文化財保存論		
連絡事項	本年度は日本の都市空間の伝統的なキーワードを学ぶなかから、まちづくりの手法を学ぶ		
シラバス作成年月日	平成22年2月28日		